

近放伝

〒530-0044 大阪市北区東天満 1-2-14 ラ・リプロ東天満 4 F
TEL. 06-6467-4030 FAX. 06-6467-4031
Eメール kpd@kinpoden.com

キリスト教番組

[ラジオ] 福音の光
朝日放送 (1008 kHz)
(土), (日) 4:30-5:00AM
[テレビ] ライフ・ライン
サンテレビ (日) 7:00-7:30AM
びわ湖放送 (土) 8:00-8:30AM
KBS京都 (土) 6:30-7:00AM

発行：近畿福音放送伝道協力会
実行委員長：若竹孝行

更に、福音宣教の拡大を

実行委員 山口登久

「見よ、その時代が来る。パンに飢えるのではない。水に渴くでもない。実に、主のみ言葉を聞くことの飢饉である。」(アモス 8:11)

去る4月中旬、韓国釜山から牧師信徒10名が来日されて親しく交わる機会があった。その懇談の中で、「なぜ日本ではキリスト教が広がらないのか？」という質問を受けた。これは日本のキリスト教会についての疑問として、よく問われるテーマである。

統計によると、日本のキリスト教信者数は全人口の1%前後。しかし、今日の諸教会の現状はそれよりもはるかに少ない信者数と推定できる。世界ではキリスト教は最大規模だが、日本では少数派のまま。当然、誰もがいづく疑問であろう。

そのような時、通常は歴史的、社会文化的、宗教観の三つの側面から、下記のような説明がなされる。

(1) 禁教と弾圧の記憶という歴史の影響

16世紀に、日本にキリスト教が伝来した。しかし、江戸時代に禁教となり強い弾圧を受けた結果、キリスト教は危険な外来宗教というイメージが強く残り、何百年も広範な伝道のチャンスが失われた。

(2) 近代以降の日本の社会文化との関係

明治以降、信教の自由は認められたが、キリスト教は学校や病院、福祉など教育、教養、文化のための宗教であると考えられた。故に、信者数は少なくとも文化としては浸透した一方で、信仰としては国内に土着化できず、福音が広がらないままの二重構造になってしまった。

(3) 日本人の宗教観とのズレ

日本では「自分は無宗教」と答える人が多いが、実際は混在型の宗教観を持ち、仏教の葬式、神社の初詣、そしてクリスマスまでも行事として過ごす人が普通となっている。日本人は先祖供養やお墓・仏壇など家と先祖と強く結びつく為に、キリスト教は家の伝統との折り合いを難しくすると考える。

その他、様々な宗教的社会的事情がある。そして「何故、我が国ではキリスト教が浸透しないか」と、日本宣教が困難な理由を説明できる。しかし、いかなる事情であろうと、私たちが宣教を停滞させて良い理由にはならない。福音宣教は主のご命令であるばかりでない。今日もまた私たちの身近に、神の救いが必要でありみ言葉に渴く多くの人々がいる。

私たち近放伝は近畿圏の諸教会による教会協力の働きとして、50年以上の間放送伝道を中心とする福音宣教活動を続けて来た。しかし、主のみ心に従い、更になお福音宣教の拡大を！と祈らされている。

献金者リスト掲載に関する大切なお知らせ

いつも近放伝の働きの為に、尊いご献金をありがとうございます。

既報の通り、近放伝では今年一月よりホームページからクレジット献金ができるようになりました。

すでに何件かの献金がささげられています。今後も、同献金者の増加が見込まれ献金者数リストが増加する一方で、ご承知のように私たちの社会では個人情報扱いについて、厳格化の要請も高まってきております。

近放伝として、今後これらをどう対応するか協議するなかで、現在毎月の会計報告欄に記載している献金者名の教会名リストと個人名リストについて、私たちは今後それを記載しない方向で検討をしています。

これについて、皆様のご意見がありましたら、どうぞ遠慮なく近放伝までご連絡ください。皆様のご意見を伺い、更に検討を続けたいと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

***** 実行委員会だより *****

5月14日(木)午後には実行委員会が近放伝事務所にて開かれました。放送伝道デー礼拝、音楽感謝祭、リスナーの集い、財政対策、「福音の光」紙のコラムなどが協議されました。実行委員会のためにお祈りください。

